

ベトナムに溶接技能校

おやくだち拠点 日本企業の教育ニーズ対応

【高知】おやくだち拠点（高知市、井上紳司代表）は、ベトナム・ハノイに技能実習生候補者向けの溶接技能学校を開校した。9月に1期生2人が来日予定で、井上代表は「即戦力が欲しいという日本企業のニーズに配慮するとともに、ベトナム

人技能実習生の待遇改善につなげたい」とし、初年度120人の輩出を目標に掲げる。おやくだち拠点は、技能実習生の日本語教育や専門技能教育を手がけるベトナムのDHM投資・人材派遣（ハノイ市）と日本総代理店を締結した。受け入れ先の日本企業と面談し、候補者を選定。日本企業の求める技術レベルに応じて個別に研修カリキュラムを立案する。研修費用は受け入れ先の企業が支払う仕組み。

研修期間は5カ月で、日本産業規格（JIS）に基づき基本級から専門級まで幅広い溶接技能習得に対応する。受け入れ先の企業は、オンラインで研修の進捗の確認ができる。

同校は、現地の工業専門学校などの施設を借りてDHMが運営する。また来日後の資格試験の受験を見据え、受

験対策の指導もカリキュラムに組み込む。DHMも併せて行われる。

また来日後の資格試験の受験を見据え、受

験対策の指導もカリキュラムに組み込む。DHMも併せて行われる。

験対策の指導もカリキュラムに組み込む。DHMも併せて行われる。



技能実習生候補者の溶接技能学校での研修